

あした 明日があるさ

海田町立海田西小学校
スマイルルーム (SSR)
令和5年6月23日

さくら きせつ す お はな いろ しき
桜の季節が過ぎ、サツキも終わり、アジサイの花が色づく時季になりました。雨が
すく 少なく、もう なつ き 来たような 気温が 続いていますね。
さて、今回はスマイルルームで育てている生き物を紹介します。



理科室からお引越し
してきました！



トマト

あと少しで食べられるかな？



きゅうり

スマイルルームの中には、学校で捕まえたダンゴムシと、理科室にいたメダカを飼っています。また、中庭でトマトときゅうりを育てています。
みんな責任もって育てており、収穫をととても楽しみにしています。



みなさんは「なんで毎日学校にいて、勉強しなくちゃいけないんだろう？」
って考えたことありませんか？
有名な人の言葉からその質問に答えたいと思います。



一万円札に描かれている人、みなさん知っていますか？
福沢諭吉さんという有名な教育者です。
福沢さんは「学問のすゝめ」という本を書いた人でも有名です。
その本の中の一文を紹介します。

福沢諭吉の言葉

賢人と愚人の別は、学ぶと学ばざるによりて出来るものなり
今のことばでいうと
賢い人間とそうでない人の差は、学ぶか学ばないかできる。



福沢諭吉



勉強は自分のため、そして世の中ののためにするもの

人は生まれたときはみんな同じで、赤ちゃんに差はありません。
でもおとなになるにしたがって、びんぼうな人、ゆたかな人、尊敬される人、かるくみられる人、地位のたかい人、地位のひくい人にわかれてしまいます。なぜ差がつくのでしょうか？
勉強した人は、人よりたくさん知識があるので、たいじな仕事やむずかしい仕事をまかせてもらえます。
そういう人は世の中から必要とされるから、みんなに尊敬されるし、地位もあがるし、お金をたくさんもらえます。自分もやりがいをもって、はたらくことができます。

勉強しないとどうなるんだろう？

知識がない人は、かんたんな仕事にしかつくことができません。だれがやってもできるから、あまりお給料ももらえません。尊敬もされにくい。
勉強をするかしないかでこんなに人生がちがってしまいます。「だから学問は必要なんだ」と福沢諭吉さんは、みんなによびかけました。

